八潮市議会議員
大久保たつお

まっすぐに！ ひたむきに！
義理と人情そして少々のやせガマン

八潮市議会レポート

2012 年 10 月 NO.20

あなたの想いを形あるものに！ 大久保龍雄

やすらぎを・しあわせを・おもいやりを

〒340-0802 八潮市鶴ヶ曽根 2014 Tel/Fax048(996)8618 t-ookubo34@kusanone.jp HP：おおくぼたつお 検索

民主党を離党しました 市民にやすらぎを・しあわせを・おもいやりを **【やしお党に】**

拝啓 残暑の候、ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。さて、私は平成 17 年の市議会議員選挙と同 21 年の同選挙を民主党公認候補で戦い、いずれもトップ当選を果たすことができました。この間の多くの市民の皆様はもとより民主党関係者、支持者の皆様、後援会の皆様に心から厚くお礼を申し上げます。

私はこの日本にも米国・英国・カナダ等に見られるように国民が選挙で時の政権を選べる**二大政党制**を確立することがもっとも国民にとって必要であり、幸福につながると信じ、故郷「八潮市」に民主党の党勢拡大のために微力ながら努力を重ねてまいりました。選挙で政権を国民が変えることが出来る最大の利点は**「国会議員が緊張感をもって、真に国家・国民のための政治を行う」**このことに尽きると思います。残念ながら中央政界は混迷し、私が理想とした政治状況ではありません。

私は政治を志した原点に立ち返ります。それは「八潮市の発展・八潮市民の福祉の向上」そして皆様の声を形あるものに！・・・。 八潮に生まれ、八潮で育てられ今、私は生かされています。残された人生を只々、故郷「八潮市」のために**「まっすぐに！ひたむきに！」**政治生命をかけてまいります。元来、地方政治は政党政治ではありませんが党籍があるための手かせ、足かせを取り、自由な立場で活動し、より多くの声をお聞きすることが市民の皆様への恩返しになると決心を致しました。8 月 27 日に離党届を提出し、これからは**【やしお党】**として頑張ってまいります。各位におかれましては私の想いをどうかご理解いただき、さらなるご支援・ご協力そしてご指導を賜りますようお願い申し上げます。末筆ながら皆々様の益々のご健勝を祈念いたします。

平成 24 年 8 月吉日 大久保龍雄 敬具

6 月議会

２４年６月１日より２０日まで開催されました

一般会計補正予算案等合計１０議案、議員提出議案（意見書）３件を審議しました。
例年、６月議会は３月議会の当年度予算、９月議会の前年度決算を審議する狭間で市長提出議案は少ない傾向にありますので一般質問をいつものようにしっかりと行いました。

一般質問

答えが出るまで！・・・*検討するは中途半端（会して議せ！議して決せよ！決して行え！）*

今議会に県の補助金約１億 9,650 万円を活用し、100 名と 80 名定員の 2 ヶ所の保育所計画が上程されている。長年の懸案事項であった待機児童対策に明るい見通しがたった。今後の開所までのスケジュールを伺う

A．近年、待機児童数が年末にかけて 160 名を超えており、相談件数も増加傾向にあり喫緊の課題でありました。市民ニーズの高い八潮駅周辺に設置したい。平成 25 年 4 月 1 日の開所を目途とし、本年 5 月中に募集を行ったところ社会福祉法人 2 社から応募があった。その後プレゼンの実施、書類審査を行い決定した。児童募集は 12 月当初に申込み時期・必要書類等の詳細を広報誌・市のホームページに

て周知していき、**12 月下旬から 1 月上旬に申込み受付し**、入所選考委員会を経て決定する
Q．事業所の決定が速い。何月何日から募集したのか
A．4 月 26 日案内し、書類受け付けは 4 月 27 日から 5 月 18 日
Q．市内、市外どちらか
A．2 ヶ所とも市外事業所で、東京都葛飾区及び草加市です
Q．本市には幼稚園経営者がたくさんおいでになる。案内をされたのか
A．特別連絡はしていない。公平性を保つため
Q．設置数が 2 ヶ所で 2 法人しかないのでは選択できない。今からでもプレゼンに参加できないか
A．受け付けは終了し、できない**（より多くの事業所が参加し子供たちにとってベストを選ぶべきです）**
Q．現在０～2 歳の待機児童が多い。年齢構成は
A．180 名中 79 名を予定しているが弾力的におこなう
Q．建設費のうち本市の負担は 2,460 万円だが年間委託料は
A．所得構成で変動があるが推計で 1 億 6,841 万円です
Q．負担割合は
A．国が 1 /2・県が 1 /4・本市が 1 /4 です
Q．すると約 4,200 万円が本市の負担になる。見込まれる保育料収入は
A．約 6,200 万円ほどです
Q．それは 100％の徴収率ではないと思うが
A．そのとおりです。100％なら約 6,400 万円です
Q．現在でも年間約 600 万円の滞納金が発生し、新保育所で 200 万円だ。**合計 800 万円毎年増**となる。昨年、4,500 万円の滞納金の内約 1,000 万円を不能欠損（あきらめる）した。3,500 万円の納付状況は
A．努力するとともに児童福祉法や地方税法も含めて対応したい
Q．納付率が口座振替 98.8％、納付書納付が 77.4％、すべて口座振替の検討は
A．口座振替を条件にはできないが説明会では利用促進したい
Q．新保育所は民設民営でありながら募集・選考・徴収すべて市が行う。しかも建設費もだ。なんの<u>リスクもない</u>。**逆に市職員の仕事が増える。**せめて徴収業務は委託できないか
A．児童福祉法 56 条で委託できるとあるが県内ではない。船橋市では行っているが本市では改善効果がでてきている 23 年度は 98％を上回る見込みであり、今後の推移を見ながら調査研究したい
Q．14 年度が 94.87％であり、努力は認めたいが今のままでは所長が督促できない。調査研究したいなら身近にいいお手本がいる。教育委員会は給食費の滞納額を年 700 万円から 23 年度は 38 万円まで減らし、**徴収率が 99.9％**だ。以前に提案したが債権が確定したら別の部署で行うことについて**市長に伺う**
A．現在でも税を含め徴収担当が他市の倍以上いる、本市の特徴だ。内容が相応しいか検証したい

大久保たつおの想い

保育料は所得に応じて決められています。0～6 万円までです。待機児童が解消されることは喜ぶべきことであり、大賛成です。しかし事業所選定をより多くの中から選択することは本市にとっても児童教育の観点からもより良いことですし職員定数を毎年減らさざるを得ないなか業務を増やすことは逆行します。
経済状況が悪い中ではありますが、市民の皆様のご理解をお願いいたします。

２、本年で 23 回目を数えるゴミゼロ運動は本市が毎年 200 万円を拠出し「八潮市民美化運動推進協議会」の主催で行われている。当初は 3,000 台もの自転車が出されたと聞いているが累計台数は
A．資料が残っている 13 回から 23 回の累計は 7,890 台です
Q．すると推計だが 1 回目からを含めると **15,000 台超**と想像されるが、先般、同協議会の総会で自転車の処分金収入を質問したところ**ゼロ**とのことだ。ありえない！**有価物**ではないかとの観点で質問する。本年 518 台だが多い町会は
A．南川崎町会 52 台、伊勢野町会 49 台、上 2 丁目と中馬場町会が 30 台です

Q．自転車は一般廃棄物か産業廃棄物か
A．県に確認したところ**一般廃棄物**として取り扱うべきとのことです
Q．産業廃棄物ですとゴミの流れを示すマニフェスト（伝票）の発行が義務づけられているが23年間自転車の処理を委託している市内の事業所は私の調査では一般廃棄物処理の許可を持っていないはずだが
A．調査したところ持っていなかった。今回の**大久保議員**の質問でわかった
Q．今まで違法行為を行っていたことを認識していただきたい。八潮市の責任が問われる。屑鉄相場を調査したところ北京オリンピック時は１ＫＧ70円だ。１台10ＫＧなら700円になる。最近はＫＧあたり25円ほどだが250円になり、平均400円としても累計15,000台なら**600万円だ。**大きな損失だ！タイヤやサドル部分を取る仕事をシルバー人材センターにお願いすれば新たな雇用対策にもなる
私は過去は問わない。過去を変えることはできない、来年度はどう考えるか
A．**大久保議員ご提案のとおり許可業者に有料で処分等をしっかりと行う**

大久保たつおの想い

根本の問題は前例や慣例に捉われずに本当にこれでいいのか？　常に立ち止まり考え、改善・改革の意識を持つことです。仕事の出来る人とは新しい発想で提案できる人です。職員に求めたい。また、そのための環境づくりや土壌を育む必要があります

9月議会　　9月1日より21日まで　　副議長に就任しました

最終日に服部副議長から退職願が提出され、副議長選挙が行われました。**22名中、私に14票**入りました。一般質問できない寂しさは感じましたが**大久保たつお**に投じて頂いた議員各位の想いを受け止めしっかりと役目を果たしてまいります。(一人会派が就任するのはなかったことであり、議員各位の英断に感謝です)
24年度各会計補正予算、23年度各会計決算、請願2件、意見書等合計41議案を審議しました。決算では各会計とも**黒字**、全国的な話題となった町名変更に伴う「垳」を守る見直しの請願は賛成多数で採択されました。今後、執行部でどう取り扱うのか注目です。八潮駅南口公園整備予算も可決され動きだします。

一般質問　　消防長がキビキビと答弁に立ちました（思わず敬礼！）

１、①現在の消防署職員の八潮市出身者の割合を伺う
A．条例定数94名中52名で約55%です
Q．決算資料によると現有に対する比率132名とある。説明を
A．国が示す本市の基準です。**94名で市民を守れるか疑問を感じています**
Q．休日勤務手当「約2,400万円」が計上されているのは代休が取れないということか
A．そうです
Q．頑張って頂いていることを改めて認めたい。本題に入るが直近3年間の合格者数も含め状況を
A．21年度は申込者数が114名、市内の方が9名、採用5名に対し**市内の方はゼロ**。(22・23年は略)
Q．１次試験（筆記）２次試験（体力）あるがどちらで落ちるのか
A．傾向としては1次試験。21年度は114名中1次合格74名、2次へ進んだ方が34名
Q．するとせっかく1次に合格しながら2次を受けない方が多い、理由をどう考える
A．受験される方は数ヶ所受けている。他自治体等へ変更していると思われる
Q．思うに他自治体のほうが待遇が良い、先ほどの職員が少ないため休日が取れないこともある。消防長は他自治体の給与状況は把握されているか
A．埼玉県内36消防本部ありますが**本市が一番低い**
Q．驚きだ！そもそも論になる。私は地元出身者を増やすべきとの主旨で今回質問した、なぜなら急な災害等での**非常招集**、自衛隊のような定年退職後の**予備消防官制度の創設**などメリットは大きい。ところが給与が低い理由で人材が流失していたら本市にとって大きな損失だ。市長はどう思われる
A．給与を上げるなら全職員上げなければならない。市民から批判が現在でもある。難しいのでは

②市民の安全・安心のためにご活躍いただいている消防団の充足状況を伺う

A．条例により定数は237名と決められており、3分団19部で女性団員10名を含め221名です

Q．8月25日の消防団夏季訓練を拝見して気づいたが、外国人の方がいた。一生懸命操作訓練に参加され、感心もしたが、消防団員が不足しているのかと思った。外国人は法律上の制限があるはずだが

A　公権力を行使しない範囲と決められています。具体的な**禁止条項は**

① 火器の使用・危険場所への立ち入り・火元関係者への質問・緊急走行で消防団車両の運転・火災現場での建物の破壊・消化作業の水確保のための水門や水道の制水弁の開閉等

Q．つまり後方支援しかできないことになる。災害時に支障となるが実際に活動に参加できるかの観点で質問するが団員の勤め先は把握されているか

A．消防団員の職業・勤め先は把握していません

Q．問題だ。最近は会社勤めの方が多い、市内へお勤めなら火災時に対応できるが市外・県外の場合車両があっても出動できない事態となる。把握することを提案したい。総務省消防庁が通達をだしている。これは全国で200万人だった消防団員が88万人となり確保策を示したものだが**「地域の特性を見て」**とある。本市の特性は面積が狭いことだ。はたして19部の消防団が必要かも考察してもいい。統合についてはどう思われる

A．消防団役員会や消防委員会で議論していただきます

Q．今議会に車両入れ替えを提案されている。2,200万円・走行距離4,500KM、まず感じたことは**もったいない！・・・軽車両の性能・価格は**

A．越谷市が使用していますが約700万円でＣＤ－１型より性能は若干劣る。小型動力ポンプ積載車は約500万円で消防団が使用しているポンプと性能の違いはないが乗車定員や積載資機材で問題がある

Q．すると3台買えることになるが今後の検討課題だ。私が提案した施策で費用を削減しそれを消防署職員や消防団員への手当に充てることを申し上げたい。消防団員は１ヶ月4,300円と出動手当1,000円と非常に少額だ。**市民の生命・財産を守る崇高な仕事**にたいしこれでは団員確保も難しい。検討を

大久保たつおの想い

財政状況が厳しい中、何かを行うとしたら何かを我慢しなければならない。家庭では当たり前です。

「企業は人なり」・・・優秀な人材確保は市民にとっても大きな財産です。

２．本市では修学が困難な家庭に「入学準備金貸付金」「教育資金貸付金」制度があり、この制度を活用し高校・大学等への進学が叶い、未来に向かって歩みだした若者が多いと思うが残念ながら滞納もあるが

A．「入学準備金」は昭和47年から435件「教育資金貸付金」は平成元年から338件で滞納額はそれぞれ24件・2,095,500円、32件5,562,440円です

Q．返済義務が生じる卒業半年後ということは債権としてはそれぞれ13,456,000円、34,892,000円か

A．債権としては貸出残ですのでそのとおりです

Q．滞納分の徴収率が異常に低い。それぞれ3.5%、4.9%、モラルの問題もあるが制度上も問題がある草加市・三郷市は連帯保証人を求めているが本市は保証人。法律上おおきな違いがある。変更は

A．文書や電話、訪問等の対策を行っているが連帯保証人に変更することは検討する

Q．本市はいずれも保護者にたいして貸出を行っているが草加市は奨学金は本人だ。返済義務が生じるのは卒業半年後ではないか、本人はすでに働いていることを想定している。高校対象者ならひと月5,000円（5年）大学対象者なら8,300円（同）で済む。保護者ではなく本人に変更することが必要ではないか。本人は辛いかもしれないが完済したときの**充実感・達成感は**今後の人生にとって**大きな自信になる。**今後この制度を利用する方たちのためにも説くのが教育ではないか。教育長の見解を

Q．いつの時代からか給食費もそうだが借りても返さない、甘えと言っていいかもしれないが残念だ。給食費問題で**大久保議員**にアドバイスを諸々いただいた。解消にむけて経験した職員がおりますのでしっかりと対応したい。

注：入学準備貸付金は一般会計が原資。教育資金貸付金は長田義弘氏の寄付金（1億485万円）が原資。